



# たまネット

## みんなで「さらに一歩前進」



この一年、私たちは「地域に出よう」をスローガンに活動してきました。それは、私たちが暮らす街や地域は、今どうなっているのか。まず現状を“見て、知って、伝え合おう。”そこから、きっと何か手がかりが、問題解決のヒントが見つかるかもしれない。その意気込みで各委員会のメンバーは地域へと。福祉関連のイベント等に参加したり、関係する事業所間の交流を図るなどそれぞれ独自に活動を展開。また、地域における情報、これまで知られることの少なかった当事者の声や日常生活の様子なども積極的に伝えていこう、と広報誌をリニューアルしました。

この多摩区地域自立支援協議会は平成 18 年度から活動を開始。平成 23 年度からは 5 年間の長期目標「障害者も共に楽しく生きる街づくり」をテーマ

に各委員会に分かれ障害のある方が暮らしやすくなるような取り組みを展開してきました。一人一人の、少しずつの支えによって、生活に変化が生まれる可能性があります。今後とも地域の皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



平成27年度多摩区地域自立支援協議会

# 「地域に出よう」

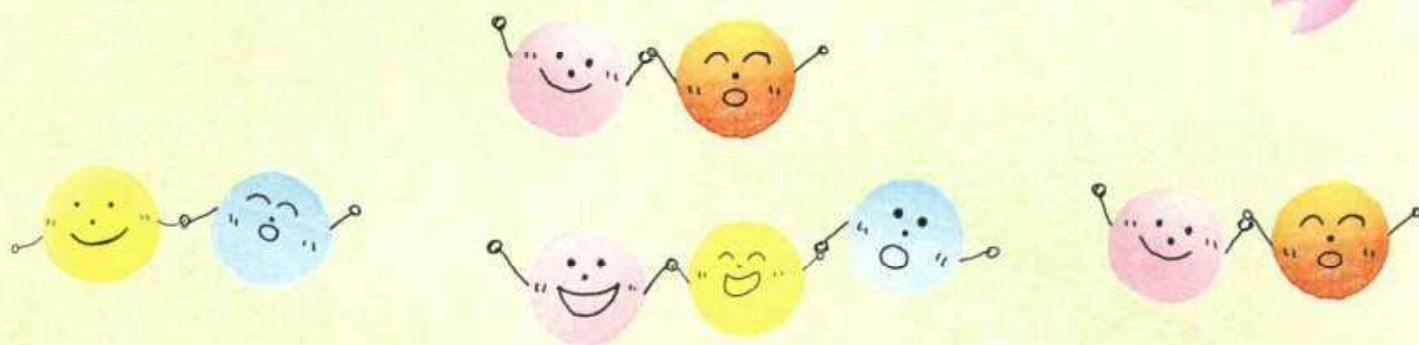
この一年を振り返って。

“今、バリアフリーは?!”  
二つの商店会の皆さま  
アンケートのご協力  
ありがとうございました。

当事者委員会



障害当事者委員会において、今年最大の目標であったアンケート調査は、6月の区役所通り登栄会様、10月の民家園通り商店会様と2回実施。多くの商店の皆さまにご協力いただきました。その結果、本当に有り難いことにご回答いただいた店舗の約半数がバリアフリーになっていました。出入り口の段差は3分の2以上が無し、店舗内の段差無し9割。店内での車いすの移動可も7割。棚の位置の見やすさ7割、休憩場所あり7割…等々(ex. 民家園通り) 障害者に優しい状況でした。バリアフリーではない店舗でも、社員がサポートする、夏は冷たい飲料水&冬は温かい飲み物を提供、商品は近くまで行き、手渡しするなど細やかな心配りをして頂いています。

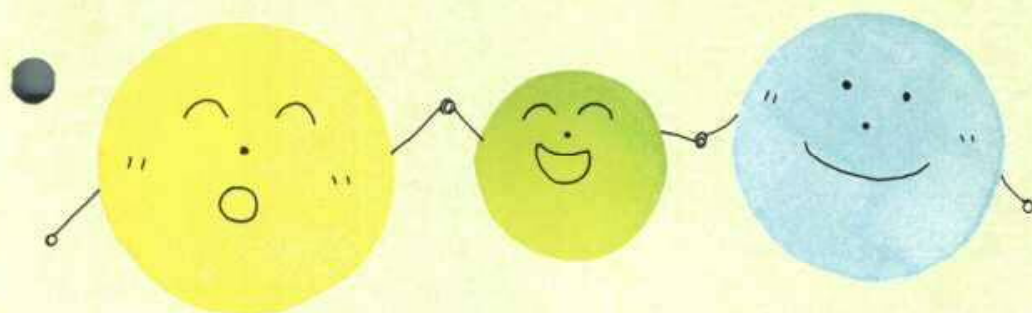


# 「子どもたちの メンタルヘルスを考える」

～みんなにおきる“こころ”の不調  
早く気づいて支えるには?～

28年3月4日(金) 14時～16時

多摩区役所 市民館3階大会議室 13:30受付開始



定員  
先着200名

入場無料  
申込不要

問い合わせ 多摩区役所 高齢 障害課 障害者支援係

TEL 044-935-3299

平成28年度多摩区こども総合支援連携会議 年間予定

第1回連携会議（7月7日）

- ・平成27年度地域子育て支援事業実施状況について
- ・平成28年度地域会議について

地域会議（9月頃）

- ・生田地区/登戸地区/菅地区
- ・地域における子育て支援について意見交換

ワークショップ/講演等（12～2月）

- ・課題の提起および抽出

第2回連携会議（2月頃）

- ・平成27年度事業進捗管理の結果報告
- ・地域会議の結果報告

## 平成28年度地域包括ケアシステム推進に向けたモデル事業

## 1 生田地区モデル事業

## (1) 今までの取組 (かりがね台自治会での活動)

- 4月21日 自治会長へのヒアリング
- 6月 2日 自治会長、副会長へ活動計画の報告・相談
- 6月 4日 役員会拡大理事会での活動依頼、計画  
班長会での協力依頼
- 8日 高年部でのヒアリング

## (2) 今後の予定

- 6月24日 業務委託業者プロポーサル
- 6月～8月 自治会役員、住民へのヒアリング実施・結果分析
- 7月～8月 かりがね台自治会全世帯アンケート実施・結果分析
- 9月～11月 協議会設置  
ワークショップ実施1～3回(課題抽出～計画作成)
- 12月～ 実施内容・方法の振り返り  
次年度の地区活動展開に向けたノウハウの整理



パサージュ・たま 第3号

発行元 パサージュ・たま運営委員会  
 連絡先 多摩区登戸1775-1  
 多摩区役所保健福祉センター  
 地域保健福祉課  
 ☎935-3292 FAX935-3276

『パサージュ・たま』は、障がいに関する普及・啓発のために「活動の場を広げたい!」「少しでも多くの人に知ってもらいたい!」という思いを持ちながら福祉活動に関わっている人々の声をきっかけに、平成20年3月から始まった事業です。

総合庁舎1階のアトリウムを利用し、月1回程度、区内の障がい者団体や生活・就労支援を行っている障がい者施設、地域活動支援センター、当事者団体の活動紹介や作品展示、また、障がいに関する相談先の紹介も行っています。

ここを訪れた皆様が、楽しみながら障がいに関する理解と関心を深めていただけるよう、これからも工夫してまいります。



パサージュ・たま運営委員会

委員長 安田 孝高

月に一度(8月は除く)、多摩区庁舎のアトリウムが華やぐひとときがあります。

障がい当事者とその方達を支援する施設・団体が、日頃の成果を発表し、情報を発信し、福祉相談をお伺いする憩いの場:

『パサージュ・たま』です。

「パサージュ」とは、フランス語で「ガラス屋根の遊歩道」のことです。区役所の1階を遊歩道に見立てて、区民の皆さまに楽しい時間を過ごしていただきたいということでこの名前が付けられ、活動を行ってきました。

多くの方々の御支援・御協力に感謝するとともに、今後多摩区の地域に根ざした活動を展開していけるように努力していきたいと考えております。

多摩福祉事務所

所長 佐藤 宏

パサージュ・たま運営委員会が主体となって取り組んでいるこの活動も6年が経過いたしました。

区民の皆さまとの交流や励ましの声は、当事者の皆さんの大きな喜びや力となっています。参加している当事者の皆さんに励ましの声をかけていただけたら幸いです。その力を以て、「パサージュ・たま」は、更に素晴らしくなっていくことでしょう。

保健福祉センターも運営委員会と協力して障がいに関する理解と関心が深まるよう努めています。区民の皆さま、是非お立ち寄り下さい。